



なりました



編集・発行
成田市教育委員会 / 〒286-8585 花崎町760番地 ☎22-1111大代表



本の面白さを教える読み聞かせ

今回は、豆記者のみなさんに「わたしたちの読書活動」というテーマで記事を書いてもらいました。子どもたちはどのように本と出会い、親しみ、友だちに本のよさを伝えていっているのかを紹介します。

わたしたちの読書活動 本との出会い、家庭で、学校で、図書館で

図書チームに入って

私たちの学校では、今年から委員会活動がなくなり、『プロジェクト活動』が始まりました。これ

は、みんなのためになることを自分たちで考えて、自主的にチームを作り活動するものです。

私は、図書活動のチームに入りました。今までの図書委員会で行っていた本の貸し出しの他に、自分たちで紙しはいや本の読み聞かせをしたりしています。また、読んだ本にポイントをつけて、ポイントがたくさんたまつた人には賞状やしおりをあげたりするよつなことを考えています。

私はこれからもたくさん活動して、多くの友だちに本を読んでもらえるよつにがんばりたいです。
久住第一小 笹岡 笑子

本って

とても大切な友達

「火の鳥」「新シエラひめのぼつけん」「こまつたさんシリーズ」などの本を知っていますか。これらの本を私は図書館司書の先生やクラスの友だちの紹介で知り、読書タイムに、わくわくしながら読みました。

司書の先生は、本を読んでくれたり、とても楽しいパネルシアターをしてくれたりするので、さらに本の世界が広がりました。だからもつと本を読む時間がほしいと思っています。

私は昨年本を80冊読んだので、今年100冊読むことを目指しています。本は私に、知らない



わくわくの読書タイム

歴史や国について教えてくれる、いろいろな世界にも連れていってくれるとても大切な友達です。

橋賀台小 村井 沙季

パソコンで本の紹介

公津小では、本を読んだ感想やその本のことをパソコンの「おすすめ本」のコーナーで紹介しています。

あらかじめ感想などをメモしておき、表紙の写真を撮つたらパソコンでの作業に移ります。紹介の画面に文章を打ち込み、表紙の写真を貼つたり絵を描きます。これ



画面には「おすすめ本」の紹介が

で完成です。後は「おすすめ本」の掲示板に貼れば、クラスの友だちや市内の他の学校の人たちとも見せ合うことができます。たくさんの人に見てもらったり、感想のメールをもらうのがとても楽しみです。

また、ぼくたちの学校ではこのような活動を他の学年の人や地域の方に教える活動もしています。

公津小 根本 拓也

新しい本の出会い

私に通っている成田小学校には、読書タイムの時間があります。図書室には、休み時間になると本の

貸し出しを楽しみにして順番待ちをしている人が大勢います。本は何度も読みかえすことができ、読んでいると自分が主人公になった気になってハラハラドキドキした感動を与えてくれるのでとても楽しいです。今のお気に入りには「日本動物記」です。動物の生がいがわかりやすく説明してあります。本を読むのが苦手な人も楽しく読むことができると思います。この次はどんな本に出会えるかとても楽しみです。



いろいろな本に出会えます

図書館での触れ合い

成田小 石毛 里奈

ある日、市立図書館に本を借り

に行く、小さい子に読み聞かせをしている人がいました。「お話し会」という活動が行われていることをパソコンで調べて知り、興味をもち、取材に行きました。

ボランティアの方への取材から、「お話し会」には4・5さいの子が多く来ること、科学の本や想像力をふくらませられる本など組み合わせを工夫していることがわかりました。聞いている子どもたちの喜ぶ様子を見て、ぼくは、やりがいのあるすばらしい活動だと思いました。

本を通してたくさんの人と触れ合える図書館をこれからも活用していきたいと思っています。

新山小 山倉 大河



市立図書館の「お話し会」

読書で心を豊かに！



本の中にはいろいろな世界が

私は読書が大好きです。1年生の頃から読書が好きで、毎日15分は本を読んでいます。

読書をしていると主人公の気持ちになれたり、いろいろな世界に入れたりするのでいつもワクワクします。こんなに簡単に不思議な世界を体験できるので、みなさんにも読書をおすすめしたいです。そして、私にも面白い本を教えてくださいと思っています。

今、私が読んでいる「十三ヶ月と十三通と十三日と満月の夜」という本はとてもハラハラして面白いです。これからはもっと読書活動を続け、心を豊かにしたいと思います。

中台小 白石 眞子

今年、たくさん読むぞ！

久住第二小学校では、いつもそうじの後に、読書タイムが15分間あります。ぼくは、今、怪談レストランシリーズを読んでいます。いろいろな怪談話のついでとても楽しみです。

6年生は、月に1回、その月に読んだ本で一番おもしろかった本について、記録カードを書いています。友だちの記録カードは、次に本を選ぶ時の参考になります。

昨年のぼくは、本を10冊しか読みませんでした。ですから、今年は50冊を目標にしています。次は、名だんていシリーズを読みたいなと思っています。

久住第二小 藤枝 良樹



そうじの後には楽しい読書

本の出会い



図書室で借りた本はわかりやすい!

コードで貸し出しのチェックを行うようになり、恵まれてるなあと思っています。

これからも図書室を利用してきたいです。

遠山小 加藤 拓也

一冊一冊ちがう面白さ

ぼくは小さい頃から、本、特に推理小説が好きです。それは昔、いとこが送ってきた

本の中にあつた一冊の推理小説との出会いがあつたからです。その本を読んでいると、なぜか自分がシャーロックホームズを越えたスーパー名探偵になつた気がして面白かつたことを覚えていています。その本を急に読みたくなつて、先日、学校の図書室で探してみましたが、「あつた!」そして、ぼくは二気にシリーズの本を読みました。一冊一冊と全くちがう面白さがあり、本にも人間のよつな個性があるのだと思ひました。

神宮寺小 米森 笙太郎



図書室には個性豊かな本がぎっしり

先生と一緒に読書タイム!



毎朝読書に集中

私たちの学校では、毎朝10分間、読書をしています。読書タイムが始まってから今年で3年目になります。先生方もクラスのみならず一緒に読書をしています。この時間、学校中はしんと静まりかえつて本を読むことに集中しています。

今、6年生は、かなり厚い本や字の細かい本、歴史の本を読んだりしています。読書タイムが終わつても、まだ読んでいる人も何人かいるほどです。私ば、毎日本を読むことで、本が好きになりました。また、いろいろなことを想像できるよつになりました。

八生小 佐瀬 郁美

夢中になれる10分間読書

僕が通つている成田中学校では毎朝10分間、自分の好きな本を読む時間があります。部活動で動いた後のこの10分間は気持ちも落ち着き、すっきりした気分でお本を読むことのできる時間です。読書に夢中になるとあつという間に過ぎてしまい、もっと時間があればいいのにと思つてもあります。

また、図書室では、今年度から市立図書館のようにバーコードのついたカードになり、簡単に借りることができるようになりました。時々本を買いこつてもありますが、もっと図書室を利用して朝の読書の時間を大切にしたいです。

成田中 中野 一樹



夢中の10分間

図書委員が 本を出前

中台中では、読書がさかんで
す。図書委員の人が本を借りて
くる出前貸し出しというものがあ
るので、教室でも気軽に本を読め
ます。だから、みんなよく本を読
んでいます。

また、図書室を利用する人も沢
山います。図書室はにぎやかで沢
山の人が来て本を借りていきま
す。人気のある本などは、なかな
か借りられないこともあります。
しかし、予約ノートというもの
もあり、そこに読みたい本を書き



図書室には次々に利用者が

つぎつぎと利用者が
くことによつて、皆
が読書に親しみをも
てるようになるとい
ます。

こむと次に借りられるようになっ
ています。読書はいろいろなこ
とを学べるよいものだと思うので、
もつとさかんにしていきたいと思
います。

中台中 川堀 有加

朝の読書タイム

「朝の読書を始めてください」
と朝の教室に呼びかけの音が響き
ます。西田学校では、全校で朝読
書に取り組んでいます。

ぼくは、朝読書が好きです。短
い時間ですが、静かで落ち着いた
雰囲気の中で、本の

世界に浸ることがで
きるからです。読書
は、発想力を豊かに
してくれるものだと
思います。頭を回転
させながら読んでい
るためか、その後の
授業にも良い影響が
あるように感じてい
ます。



全校で取り組む朝読書

いなと思います。

西中 小林 弘典

私たちの読書活動

私たちが国語の授業で行った読
書活動は、学校の図書室の本から
短歌を探し、自分以外の人がその
短歌をどう鑑賞したのか読み取る
というものでした。どんな物語や
小説伝記でも人の考え方はそれぞ
れで短歌についても本を書く人
によって鑑賞は全く違いました。

そして、本を読むことによつて
その本を書いた人の気持ちがわか
るので、その短歌について深みの
ある読み方ができました。
読書によつて同じ位の歳の人や
歳の離れている人など、さまざま

な人の感じ方や気持ちも伝えられ
ることをすばらしいと思いまし
た。



図書室を利用して読書活動

遠山中 堀内 絵梨子

ぼくの読書環境

ぼくは小さい頃、絵本を読むの
が大好きでした。しかし、小学校
低学年から高学年になるにつれて
読書から遠ざかってしまいました。

中学に入學すると高校と一緒に
使える蔵書約4万冊の図書館があ
りました。図書委員からは定期的
に図書に関する案内が配られま
す。さまざまなジャンルの本の紹
介がされていて、中には興味をか



たくさんの蔵書に囲まれて

きたてられる文章がいくつもあ
り、そこから本への関心が高まり
ました。少しずつ、本を読む機会
も増えました。こうして本との関
わりの中で、自分の世界を広めて
いきたいと思っています。

成田高校付属中 伊藤 拓

あとがき

豆記者のみなさんの記事
から、成田の子どもたちが
学校の図書室や市の図書館
を利用し、本に親しんでい
る様子がうかがえました。
また、自分自身が本に親
しむだけではなく、委員会
活動やコンピュータを使っ
て、身近な人に本に関する
情報を発信していることが
印象的でした。